

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
センター長	烏野 隆博
副センター長	倭 正也
副センター長	種村 匡弘

—概要—

2019年10月に前期研修、後期研修、医師の生涯研修をより充実したものとし、研修医、専攻医にとって魅力ある臨床研修プログラムの構築を行うことを目的に臨床研修センターを開設した。

これからの臨床医は前期研修・後期研修での経験をもとに、多彩なキャリアパスの中から自分の目指した医師像に近い道を選択いくこととなる。それは地域医療への貢献や高度先進医療の実践あるいは研究者としてのアカデミズムの追求などである。これらの基礎となる臨床能力を十分に養うため、そして研修医の意見も取り入れて、分野横断的な教育・研修を推進していく。さらに、このような研修を通して、人格を養い、技量を習得し、さらにリーダーシップの発揮できる医療人になれることを目標とし、研修医が思い描いている「理想の医師像」に着実に近づいていけるようにサポートしていく。

<研修理念>

地域医療から国際診療までを担える視野を持ち、安心かつ良質な医療をチームと協調して提供できる総合力と人格を育む。

<研修基本方針>

患者の心身を預かるにふさわしい人格を育む

全人的に対応できる総合力を育む

チーム医療を実践する統率力を育む

地域医療と共に国際診療を担う広い視野を育む

生涯にわたり、学び続ける気概と探求心を育む

<研修医>

研修医2年次	研修医1年次
大谷 翔一	石田 恭崇
坂根 舜哉	仁紙 祐人
迫 恒志	野本 未佳子
谷口 梓	山田 恭巳
原 まどか	和田 嘉允
	淡路 拓也
	萩原 佳菜
	岡本 峻和
	尾嶋 さなえ

—実績—

上記、目標を目指しての研修医教育や環境等が十分に研修に値するとして、外部評価機構である卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定を受けている。

学会発表はCOVID-19による影響もありこれまでより少なかったが、論文発表ができた。

—今年度の成果と反省点—

1. 研修医カンファレンス

スライドを使用した症例発表会を1回/月の頻度で開催

2. クリニカルレベルアップセミナー

外来診療、特に救急外来診療で役に立つワンポイントアドバイスを含んだレクチャーを各科専門家から講義形式で1回/月の頻度で開催

3. 反省点

COVID-19の流行により講義形式のレクチャーや医学英会話が中止となり、教育の場が少なくなった。

—来年度への抱負—

1. 初期研修医ワーキンググループによりCOVID-19禍でもできる限りの有意義な研修教育を行う

① 座学:週1-2回とし、2年目初期研修医や後期研修医によるレクチャー

② 手技の実習
サザンウィズでシミュレーション機器を利用して行う:採血、気管挿管、縫合など

③ 医療英会話
国際診療科との合同研修として開催